

平成17年度 利用促進部会活動報告

次世代高度ネットワーク推進会議
利用促進部会 部会長
相原 玲二

1. 利用促進部会の活動方針

【基本方針】

産・学・官・地域の関係者間の意見交換・交流を促進し、特に地域におけるJGN の利用促進を通じて研究開発の活性化を図ることを目的として、利用促進部会を設置

活動領域は次のとおり。

- ア 産・学・官・地域と連携した、JGN の利活用促進と研究開発の活性化の検討
- イ 地域協議会との連携等、産・学・官・地域との連携に関する具体的な促進方策の検討
- ウ その他JGN の利活用促進に関する検討

【活動の目標】

利用促進部会の下、利用促進の主体となる利用促進ワーキンググループを設置し、次の活動を行うこととした。

- グループ長及びメンバー相互の意見・情報交換と実情把握
- JGN 利活用の活発化方策の検討
- 具体策の推進と展開
- 利用促進部会での報告

平成17年度の利用促進WGの目指す成果は次のとおり。

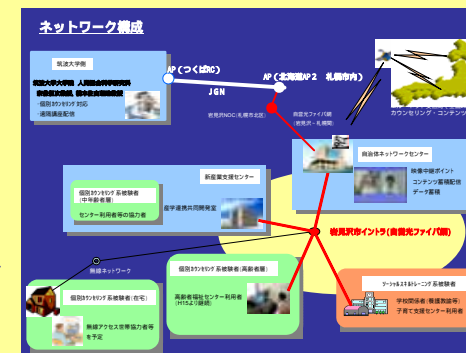
- 平成18年3月までに、全ての都道府県において研究開発が実施される(利用申請が行われる)こと

2. 利用促進部会の主な活動状況(1)

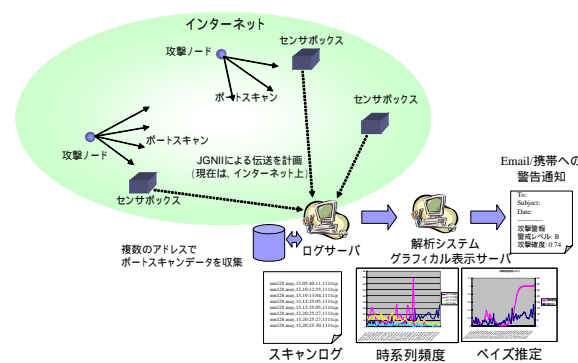
第3回利用促進部会の開催状況

- ・日時:平成17年7月27日(水) 14時～16時
- ・場所:品川イーストワンタワー 大会議室
- ・参加者数:約80名
- ・内容:JGN の利用状況と利用促進WGの活動報告など
JGN 利用者による事例紹介

- JGN を活用した遠隔カウンセリングに関する研究開発(岩見沢市)
- JGN の利用開始事例 ～ 定点観測システムの研究開発を通して～
(三菱総合研究所)



定点観測システムWCLSCANのシステム概要



2. 利用促進部会の主な活動状況(2)

第4回利用促進部会の開催状況

- ・日時:平成18年1月18日(水) 10時半～12時
- ・場所:仙台国際センター 大会議室「橘」
- ・参加者数:約60名
- ・内容:利用状況報告

利用促進WGの活動状況と今後の方針

JGN 利用者による事例紹介

- 高速広域L2網によるリアルタイム地震観測波形データ交換システムの構築
東京大学(鷹野澄助教授)
- 東海地域におけるJGN2コミュニティネットワークの活動について
名古屋大学(河口信夫助教授)
- 地域情報ハイウェイの相互接続による広域連携
～TV放送映像中継実験など～ (総務省近畿総合通信局)
- 四国におけるJGN 利用促進活動について
～イベント実施を通じた地域連携づくり～ (総務省四国総合通信局)



2. 利用促進部会の主な活動内容(3)

今年度の利用促進ワーキンググループの活動状況と成果

活動

(1) 特定地域を対象とした利用促進活動の検討・展開、JGN プロジェクトの立ち上げ・イベント運営支援

- ・ 支援を必要とする地域(利用申請が1件もない8地域)のうち4地域に対し、WGメンバーが訪問、関係者と利用促進に関するディスカッションを実施。
- ・ その他4地域は、関係者へのヒアリング、定期的なモニタリングを実施。

全都道府県における研究開発プロジェクトの実施

成果

支援地域	利用申請の最終状況
群馬県	群馬大学より利用申請あり、その他1件利用申請予定。
栃木県	宇都宮大学において利用申請予定。
新潟県	新潟大学より利用申請複数有。現在3件利用中。
長野県	塩尻市松本市より利用申請有。現在2件利用中。
島根県	松江高専より利用申請あり。
徳島県	徳島大学より利用申請あり、その他1件利用申請予定。
熊本県	熊本大学と熊本県工業技術センターより利用申請有。
沖縄県	琉球大学より利用申請あり、その他に1件利用申請予定。

2. 利用促進部会の主な活動内容(4)

今年度の利用促進ワーキンググループの活動状況と成果

活動	(2) 得られた活動の成果やノウハウ等の共有、他の地域への展開		(3) 他地域の研究事例・テーマや研究協力者の紹介など、利用促進のために有効な活動の実施			
	↓		↓			
成果	成果・ノウハウ報告の実績		活動内容		具体的な実施内容	
	・近畿JGN 利用促進部会 (平成17年6月16日)		JGN の 利用申請支援		個別にJGN 利用申請までの支援を実施	
	・東海JGN 利用促進部会 (平成17年7月6日)		イベント支援		全国で開催されるJGN 関連イベントにおける支援を実施	
	・東海JGN 推進協議会 (平成17年11月7日)		広報活動および 広報資料の充実		・総務省の競争的資金制度「SCOPE」の説明会に併せた説明会の実施	
	・第3回利用促進部会 (平成17年7月27日)				・広報資料「みんなのJGN ネットワーク！」の作成	
・第4回利用促進部会 (平成18年1月18日)		総合通信局 JGN 勉強会		・JGN の広報用ビデオの作成		
・総合通信局テレビ会議 (1~2ヶ月に1回開催)				総務省と連携し、総合通信局の実務担当者会議にてJGN に関する勉強会を開催(平成17年12月8日~9日)。		

2. 利用促進部会の主な活動内容(5)

広報資料及び広報活動の充実

- ▶ JGN 広報用ビデオの作成
 - JGN の活動やサービス内容をアニメーションなどを用い、分かりやすく紹介



- ▶ 広報資料「みんなのJGN ネットワーク！」の作成
 - ネットワーク技術者以外の方にも分かりやすい内容
 - JGN の特徴、利用のメリット、事例などのポイントを端的に説明

1. JGN とは

JGN は、次世代のネットワーク関連の技術開発やアプリケーション開発などに活用することを目的としたオープンな研究開発ネットワークです。このネットワークは、ネットワーク関連の最先端の研究開発に加え、教育・医療・防災等の幅広い分野で地域社会に密着したアプリケーション等の実証実験に利用することができます。


こうした目的であれば、地方自治体、学校関係者、医療関係者、民間企業等の方々をはじめ誰でも利用することができます。

目的: 研究開発/実証実験

ご利用

研究成果により

未来のIT社会を展望



これらの資料を用い、地域でのイベント、会議、各種説明会などで積極的に広報活動を行い、JGN の利用促進やJGN の認知度の向上に努める。

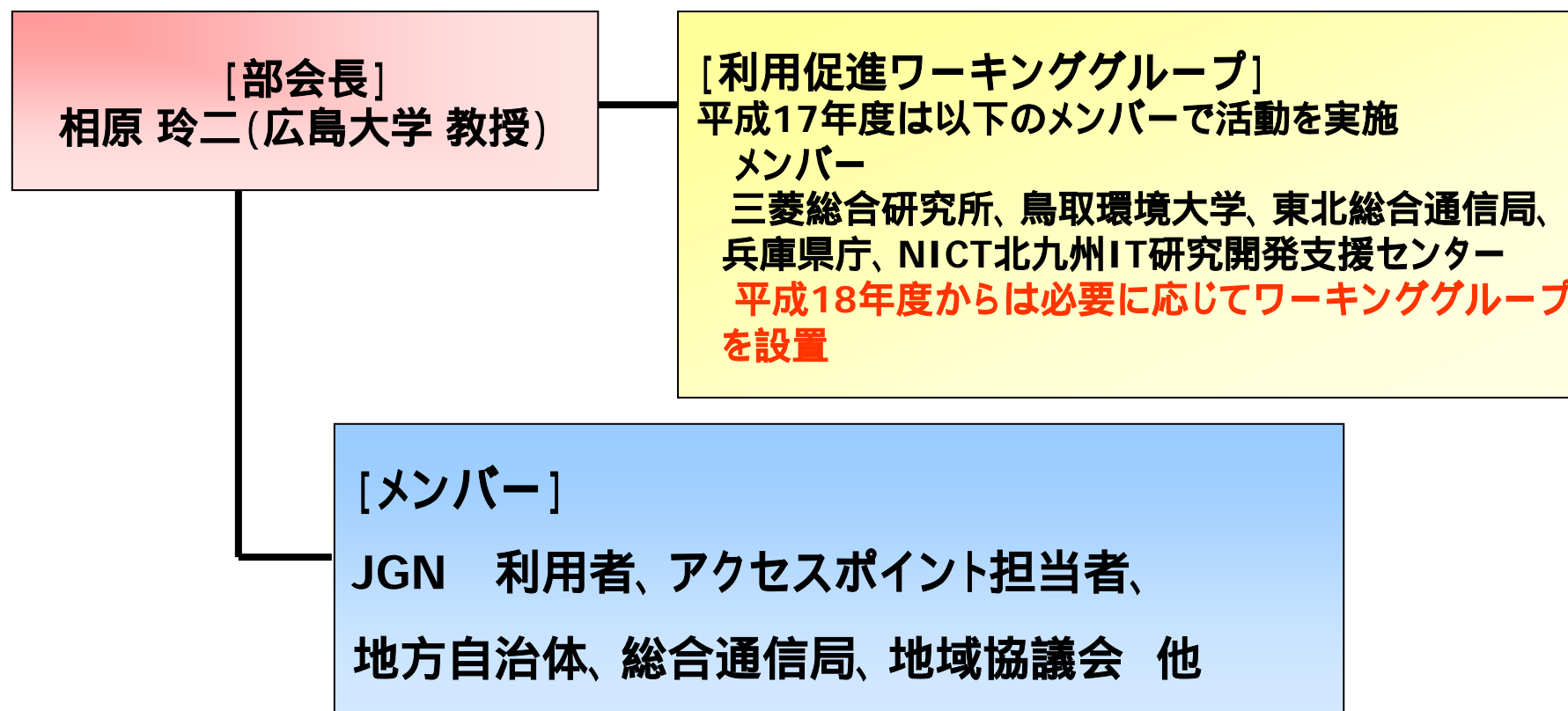
3. 今後の活動方針

利用促進部会の活動方針

- ・利用者間による活発な議論が展開されるような情報交換の場を設定し、JGN 利用の成果を明確化していく。
- ・地域ネットワークとの相互接続及び地域の研究活動促進のための環境作りを行う。
- ・地域活性化、人材育成に貢献した優秀プロジェクトの表彰を行う。
- ・利用ノウハウに関わる情報提供
- ・新規利用者の獲得および地域において中核となれる人材の発掘

(参考) 利用促進部会の組織

利用促進部会の組織は次のとおり。



平成18年3月現在 登録者数 227名